

糖尿病・
内分泌内科呼吸器
内科消化器
内科循環器
内科

腎臓内科

血液・腫瘍
内科脳神経
内科総合
診療科

外科

呼吸器
外科脳神経
外科

整形外科

形成外科

心臓血管
外科

泌尿器科

耳鼻
咽喉科

小児科

皮膚科

眼科

産婦人科

歯科口腔
外科

放射線科

病理
診断科麻酔科
救急科

診療科の概要

当科では腎疾患の早期診断に積極的に取り組み、早期腎炎から慢性腎臓病、末期腎不全・透析管理に至るまでの総合的治療・管理を行っています。

また当院は高度救命センターを有する急性期病院でもあることから、急性血液浄化療法を必要とする患者様に対しても、院内各科と連携をとりながら集学的治療を行っています。

診療内容

腎炎・ネフローゼ

腎炎・ネフローゼ症候群が疑われる患者様には積極的に腎生検を施行し、臨床所見と病理組織学的診断を合わせて治療方針を決定しています。必要があると判断された場合には、ステロイド剤や免疫抑制剤、血漿交換療法等による治療を行います。

また慢性腎炎の中でもっとも多いIgA腎症では、腎生検の結果をふまえ「扁桃腺摘出術とステロイド療法」を施行し、血尿・蛋白尿の減少や消失というような良好な治療成績をおさめています。

慢性腎臓病（CKD）

慢性腎臓病の診療は主に進行の抑制に重点を置いており、薬物療法・食事療法に積極的に取り組んでいます。さらに腎臓病に合併する心血管疾患の予防や治療を行っています。慢性腎臓病を初めて指摘された方や自宅での管理に不安をお持ちの患者様には、教育・治療のための入院を勧めています。腎機能悪化を抑制し、生命予後を改善する効果のある薬も増えてきています。投薬管理と生活指導を組み合わせることで腎機能が少しでも長く温存でき透析導入を抑制できるよう日々努力しています。

末期腎不全

治療を行っても残念ながら末期腎不全に近付いてきた患者様には、腎代替療法が必要となります。腎代替療法には血液透析、腹膜透析、腎移植があり、当院では血液透析と腹膜透析を実施しています。患者様のご希望やQOLを十分に考慮したうえで治療法を選択していただき、準備から導入までを行っています。

透析センター

当院透析センターは慢性腎不全の患者様の血液透析療法、腹膜透析療法を中心に、神経疾患や自己免疫疾患等のために血漿交換療法や免疫吸着療法等あらゆる血液浄化を必要とする患者様に対して治療を行っています。

現在月水金、火木土いずれも午前(9:00～14:00)、午後(14:00～19:00)の2クールで行っております。

また当院は当地区のセンター病院の1つであることから、24時間いつでも緊急時の血液浄化に対応できるように体制を整えています。

医師紹介

医師名	専門分野/認定・専門等
こばやし ひろのり 小林 広学 院長補佐 部長	専門分野： 透析患者に対する循環器合併症管理・治療、バスキュラーアクセス（シャント）不全に対するバルーン治療、心不全・電解質・貧血管理、腹膜透析管理、腹膜透析力テータルに対する管理・治療 医学博士 日本内科学会総合内科専門医、指導医 日本腎臓学会腎臓専門医、指導医 日本透析医学会専門医、指導医 日本循環器学会専門医 日本腹膜透析医学会認定医、評議員 日本腎・血液浄化AI学会評議員 日本透析医学会VA血管内治療認定医 日本透析アクセス医学会VA血管内治療認定医 透析バスキュラーアクセスインターベンション治療医学会VAIVT認定専門医 腎代替療法専門指導士 日本医師会認定産業医 NPO法人日本腎臓病協会慢性腎臓病対策部会 北海道ブロック地区幹事 旭川医科大学臨床指導教授 札幌医科大学臨床指導教授
あたち あきら 安達 昭 医師	専門分野： 腎臓内科 外科専門医 医学博士
おさなみ あらた 長南 新太 医師	専門分野： 慢性腎臓病治療、糸球体腎炎の診断と治療、腎病理診断、心不全、電解質、貧血管理、腎代替療法、バスキュラーアクセス不全に対する治療 医学博士 日本内科学会認定医 腎臓専門医・指導医 透析専門医 循環器専門医 腎代替療法専門指導士 日本腎病理協会腎病理診断研修フェローシップ修了

医師紹介

医師名	専門分野/認定・専門等
やまだ かずき 山田 一紀 医 師	専門分野： 腎臓内科、血液透析、腹膜透析 内科専門医 日本医師会認定産業医 ICLSインストラクター JMECCインストラクター 透析専門医 腎臓リハビリテーション指導士 日本腎臓学会腎臓専門医
たけだ さき 武田 紗季 医 師	専門分野： 腎臓内科

腎臓内科 診療時間

(初診：8：00～11：00)

月	火	水	木	金
長南	小林	山田	小林	武田

透析室

	月	火	水	木	金
午前：PD外来			小林	宮森/山田	
午後：PD外来				小林	
午後：HD外来	小林	小林		小林/宮森	

診療部長よりひとこと

広い道北地域においても腎臓内科を標榜している施設は少ないのが現状です。専門的治療知識のアップデートを日々努力し、地域連携施設と良好な関係を築きながらレベルの高い腎臓病医療を地域住民の皆様に提供できますよう、頑張っていきたいと思います。

診療実績（2024年1～12月）

項目	患者数
外来新患数	315
外来延数	5,823
新入院数	631

主な手術実績（2024年1～12月）

項目	件数
経皮的シャント拡張術・血栓除去術	186
末梢動静脈瘻造設術（内シャント造設術）	76
連続携行式腹膜灌流用カテーテル腹腔内留置術	17
CAPD出口部変更術	10
CAPDカテーテル抜去	7
内シャント血栓除去術	4
皮弁作成術，移動術，切断術，遷延皮弁術	3
血管縫合術（簡単）	2
小児創傷処理（筋肉、臓器に達しないもの）	1
血管結紮術（その他）	1
合計	307

糖 尿 病・
内分泌内科呼 吸 器
内 科消 化 器
内 科循 環 器
内 科

腎臓内科

血液・腫瘍
内 科脳 神 経
内 科総 合
診 療 科

外 科

呼 吸 器
外 科脳 神 経
外 科

整形外科

形成外科

心臓血管
外 科

泌尿器科

耳 鼻
咽 喉 科

小 児 科

皮 膚 科

眼 科

産婦人科

歯科口腔
外 科

放射線科

病 理
診 断 科麻 酔 科
救 急 科